

プロジェクト計画立案

■プロジェクト作業計画の手法

- ・必要作業（タスク、アクティビティ）の分析
- ・経営資源の割り付け

PPP(Phased Project Planning) 段階的プロジェクト計画

- ・宇宙開発計画で NASA が提示した手法
- ・工程を大きく 4 つのフェーズに分け、それぞれを下位タスクに分割
- 1. 予備分析 (Preliminary Analysis)
- 2. 仕様定義 (Definition)
- 3. 設計 (Design)
- 4. 開発と運用 (Development and Operation)
- ・プロジェクトは、計画フェーズ、いくつかの実行フェーズ、評価フェーズに分解される。
- ・ひとつの実行フェーズを取り上げると、計画タスク、いくつかの実行タスク、評価タスクに分解される。
- ・タスクはさらにステップに分解される。

PPP における 4 段階の作業計画

計画	内容
企画書	プロジェクトの構想時に作成。必要性、内容、見積、効果。システムアナリストによる
プロジェクト計画書	開始承認後に作成。進行の基本。方針、目標、内容、組織要員管理計画、プロジェクト運営計画（進捗、品質、費用、機密契約、変更）、環境整備管理（設備、適用技術計画）。 <u>プロジェクトマネージャ</u> が作成
フェーズ作業計画書	各フェーズの実施に先立ち、フェーズの作業（タスク）を列挙し、資源の割当てとスケジューリングを実施
作業（タスク）実施計画書	各作業（タスク）の実施に先立ち更に細分化された作業（ステップ）を分析し、資源の割当てとスケジューリングを行う

WBS(Work Breakdown Structure) 作業分割構造

- ・プロジェクトに必要な作業をトップダウン分析し、階層構造で表現
- ・一般に、上部のくくりは機能を表し、下部になるにつれ作業を表す。
- ・PPP の階層に応じて、プロジェクト WBS、フェーズ WBS、タスク WBS 等が用いられる。

RAM(Responsibility Assignment Matrix) 責任分担表

- ・WBS で示された各作業または機能を一方の軸にとり、対応する組織や要員名を他方の軸

にとって二元配置のマトリックスで、その関連と責任権限を表現した図。

- RMC(Responsibility Matrix Chart) または TRM(Task Responsibility Matrix) と呼ばれる。